たまな市議会だより

～たまな市議会だより～

令和5年
9月定例会
令和5年11月1日発行
NO.72

もくじ

P2～3 …定例会報告
P4～5 …委員会審査
P6～10 …一般質問13名
P10 ……意見交換会のお知らせ
P11 ……先進地視察レポート
P12 …… 12月定例会予定

表紙イラスト：**「大俵まつり」** 玉名女子高等学校 ビジネス科アニメデザインコース3年 **島浦（しまうら）　美希（みき）さん**
大俵の迫力と、タマにゃんが祭りを楽しんでいる様子が伝わるように描きました。

令和５年　第３回定例会（９月）

会期　９月１日▶９月29日　29日間

９月定例会では、令和４年度歳入歳出決算、令和５年度補正予算、議員逝去決議、条例の一部改正、人事など25議案と意見書案１件を審議した。その他、請願２件のうち１件は不採択とし閉会した。

認定した前年度決算

【令和４年度一般会計決算】

歳入決算額 367億2,697万円

歳出決算額 352億5,671万円

決定した主な事業

【物価高騰対策】

❶公立病院運営支援事業 …… **726万円**

（県に合わせ、１病床数あたり21千円を支援）

❷学校給食費賄費等支援事業 …… **2,286万円**

（小中学校の給食費の負担軽減として物価高騰相当額の１年分）

【災害復旧対策】

❸災害復旧費 …… **5,057万円**

（令和５年６月30日からの豪雨災害等関連復旧事業61件）

【その他】

❹県産麦安定生産体系構築支援事業 …… **1,875万円**

（麦の安定生産に必要な機械導入支援）

❺施設等管理運営事業 …… **1,592万円**

（日嶽遊歩道修繕及びコミュニティセンター潮湯の機械室温水器更新費用）

討論　私はこう考える!!

議第70号　令和４年度一般会計決算

原案反対　　前田　正治

国の経済対策である保育士等の処遇改善事業は、コロナ禍に最前線で働く看護、介護、保育の従事者へ収入アップを目的とした経済対策。公立保育所職員は対象とされたが、会計年度任用職員に適用されなかったことには異議があり反対。

議第72号　令和4年度後期高齢者医療特別会計決算

原案反対　　前田　正治

令和4年度から後期高齢者医療の保険料が引上げに。また医療費の負担割合も、一定の収入がある者に対しては1割から2割へ引き上げられた。年金受給額の減少や物価高騰が続く中、このことは容認できず反対。

請第２号　インボイス制度の延期実施

原案賛成　　前田　正治

インボイス制度実施は、消費税の税率変更なしで新たな税を課すもの。免税事業者はインボイス登録により消費税の納税義務が発生。登録がないと相手先から取引の断わりや値引き要求などがある。物価高やコロナ禍の下、中小事業者には足かせとなり、請願に賛成。

請第３号　日米地位協定の抜本的な改定を求める

原案賛成　　前田　正治

現在の日米地位協定では、米軍関係者へ特権的扱いが保証され、他国と比べても、事件に対する日本の警察の捜査は極めて困難な状況にある。この実情から、全国知事会や全国市議会議長会では、国に協定見直しを求める提言や決議が提出されており、この請願に賛成。

議案の審議結果

■全会一致で承認、認定、可決、同意した議案

議番号	議　案　名
議第69号	専決処分事項の承認について　専決第9号 令和5年度玉名市一般会計補正予算（第3号）
議第71号	令和4年度玉名市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
議第73号	令和4年度玉名市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
議第74号	令和4年度玉名市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算
議第75号	令和4年度玉名市水道事業会計決算
議第76号	令和4年度玉名市公共下水道事業会計決算
議第77号	令和4年度玉名市農業集落排水事業会計決算
議第78号	令和5年度玉名市一般会計補正予算（第4号）
議第79号	令和5年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議第80号	令和5年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議第81号	玉名市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議番号	議　案　名
議第82号	玉名市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第83号	玉名市民会館条例の一部を改正する条例の制定について
議第84号	熊本市との連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について
議第85号	熊本市との公の施設の利用に関する協定の締結について
議第86号	普通財産の無償貸付けについて
議第87号	教育長の任命について
議第88号	教育委員会委員の任命について
議第89号	公平委員会委員の選任について
議第90号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第91号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第92号	固定資産評価審査委員会委員の選任について

請願　審議結果

	件　名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第2号	インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出に関する請願	建設経済委員会	不採択 （賛成なし）	**不採択 （賛成少数）**
請第3号	日本政府に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願	総務委員会	採択 （全員一致）	**採択 （賛成多数）**

■賛否の分かれた議案

○･･･賛成　×･･･反対

議案		大野 豊重（自友）	中村 慎吾（新生）	浜田繁次郎（新生）	瀬崎 剛（創政未来）	田浦 敏晴（第二新生）	山下 桂造（自友）	立川 信之（第二新生）	坂本 公司（第二新生）	吉田真樹子（創政未来）	一瀬 重隆（自友）	北本 将幸（創政未来）	多田隈啓二（創政未来）	松本 憲二（自友）	徳村登志郎（公明党）	西川 裕文（第二新生）	江田 計司（新生）	近松恵美子（新生）	前田 正治（日本共産党）	作本 幸男（新生）	森川 和博（無会派）	中尾 嘉男（第二新生）	議決結果
議第 70 号	令和４年度玉名市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	**原案可決 （賛19、反1）**
議第 72 号	令和４年度玉名市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	**原案可決 （賛19、反1）**
意見書案第１号	日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	○	○	○	**原案可決 （賛19、反1）**

※新生…新生クラブ／第二新生…第二新生クラブ／自友…自友クラブ／創政未来…創政未来／無会派…会派に属さない議員

人　事

（敬称略）

★教育長の任命
福島（ふくしま）　和義（かずよし）

★公平委員会委員の選任
林田（はやしだ）　優子（まさこ）

★固定資産評価審査委員会委員の選任
中野（なかの）　幸子（ゆきこ）

★教育委員会委員の任命
隈部（くまべ）　知更（ちこう）

★固定資産評価審査委員会委員の選任
一（はじめ）　廣子（ひろこ）

★固定資産評価審査委員会委員の選任
津崎（つざき）　伸宏（のぶひろ）

田畑久吉議員ご逝去

玉名市議会議員の田畑久吉氏（84歳）は、令和５年８月９日にご逝去されました。

田畑氏は、平成６年８月に旧玉名市議に初当選され、連続８期29年にわたり、市政発展に尽力されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を心からお祈りいたします。

委員会審査（決算）

予算決算委員会　9月15日㈮・19日㈫

経常収支比率の上昇理由

質問 **経常収支比率が、前年度から2%上昇。その理由は**

答え この指標は財政状況の健全性・弾力性をみるもの。収入である交付税が増えて、歳出の一般財源が減少したため。

空家対策推進事業の効果

質問 **空家対策の啓発や、その成果は**

答え 固定資産税納付書発送の際に啓発チラシを同封している。空き家バンク制度登録物件の成約件数は12件である。

コンビニ証明書交付事業の有効性

質問 **コンビニ発行の各種証明書。その事業の成果は**

答え 12月～3月に10円で発行した際には、通常の約4倍であった。費用対効果よりも利便性向上を図りたい。

福祉バスの利用促進

質問 **福祉バス利用者が少ないが、今後どのように考えているのか**

答え 市が実施するアンケート調査項目に福祉バスの運行に関することも追加し、高齢者の皆さんの活動の幅を広げたい。

生活保護受給世帯の現状

質問 **全国的に生活保護受給世帯が増える中、本市の相談、申請状況は**

答え 本市においては、相談件数、申請件数も、令和元年度から比べてもほぼ横ばい状態である。

コロナに負けない繋がる観光支援

質問 **昨年度福岡市で開催した物産展での販売戦略とそれをどう反映しているのか**

答え 物産展では、来場者や購入者に販売商品をネット購入や交流できるサイトを紹介。また、市内観光業者へは、有利な財源等を用いて、引き続き効果的な支援を行っている。

▲福岡市内で開催した物産展

産地生産基盤パワーアップ事業

質問 **事業費1億5,200万円の内容は**

答え 国の補助事業で、水田・野菜・果樹などの産地が地域一丸となり収益力の強化に取り組むもの。作成した計画を基に、導入する機械のリースや施設整備などの対象経費1/2を補助。実績は、玉名のイチゴ高設栽培の施設整備など。

岱明防災センターの活用状況

質問 **これまで、防災に関連した活用はされているか**

答え 令和４年11月に玉名市総合防災訓練を実施。翌年３月に自衛消防訓練として避難訓練を実施した。

ＩＣＴ支援員を導入後の教職員の反応は

質問 **支援員の導入に対して、教職員の感想は**

答え 調査結果では、「有効活用できている」が77%以上、「必要性を大いに感じる」が68%以上との結果であった。

いだてんマラソンへの出場

質問 **大会を盛り上げるため、市職員ランナーの参加を認めては**

答え マラソン経験のある市職員は、スタッフとして参加し、その知見を大会運営に活かしてほしい。

▲第1回いだてんマラソン大会

特定健診の受診率

質問 **特定健診の受診率は、県内で何番目なのか**

答え 県内14市中、平成30年度は５番目、令和元年度は７番目、令和２年度、令和３年度は11番目である。

水道未整備地区への早期対応

質問 **決算書に約6億の建設改良費とあるが、未整備地区の開発はどうなっているのか**

答え 今年又は来年度にアンケート調査を予定しており、水道が必要な地区があれば整備計画を立てていく。現在、東部地区を整備している中で、横島・天水周辺を賄なえるだけの井戸の水量確保はすでにできている。

委員会審査（補正予算）

予算決算委員会　9月20日㈬

髙瀬蔵の土地、ＮＰＯに無償貸付

質問 土地は市所有のため非課税。建物に税の軽減はないのか

答え ＮＰＯ法人に対しては、課税･非課税の規定がないため、譲渡された場合は課税となる。

マラソンで台湾と交流

質問 台湾桃園市とのマラソン交流の内容は

答え お互いの市で開催する、マラソン大会のツアーに申込んだランナーの参加料を無料にする。また、桃園市の大会優勝者を、本市の大会に招待するほか、43位の方へは金栗トロフィーを授与するといった交流を企画。

障がい者運転免許取得等への助成額を増

質問 昨年も増額補正されたとのことだが、毎年の申請件数は

答え 令和元年度が９件。令和２年度が６件。令和３年度が４件。令和４年度が６件の申請となっている。

税徴収の委託料

質問 枠組みが変わるだけで森林環境税の徴収額は変わらないのか

答え 個人に対しての徴収額は変わらないが、市に入る税収は落ちる。森林環境税については森林贈与税として入る。

有事に備えた排水機場維持管理を

質問 大正開のポンプ5台のうち2台が故障した原因は。耐用年数を考慮した管理を

答え シール材の腐食により、ポンプ内の機械室に水が入り停止したことが原因。市内に排水機場は26箇所あり、経年劣化に伴う故障が多くなっている。県費または利用できる補助事業で対応していく。

給食費賄費支援2,286万円の追加

質問 高騰する給食用食材費に対する市の支援追加分算出の根拠は

答え 一食あたり13.1%の高騰分を根拠としている。高騰の主な要因としては、パン･副食費等の物価上昇が考えられる。

委員会報告

総務委員会　9月21日㈭

空家等対策に関する条例の一部改正

質問 特定空き家、管理不全空き家等の税の減額はどうなるか

答え 指導･勧告まで行った場合、税法上の特例措置は解除される。

熊本市との連携協約の締結

質問 公の施設については、市内･市外の利用区分けがなくなるのか

答え 施設の共同利用については、調整を行い新たな条例が提案されると考える。

建設経済委員会　9月22日㈮

髙瀬蔵は管理体制を一本化し更なる魅力アップへ

質問 建物を管理する玉名商工会議所と運営を担うNPO法人高瀬蔵の体制を協議するに至った経緯は

答え 玉名商工会議所の特別委員会で、高瀬蔵の本来の目的である中心市街地活性化には、管理体制を一本化しスムーズな運営を図る必要があると考え、双方合意した。

インボイス制度実施延期の請願

内容 制度導入は、回収できていない消費税に着目し、公平な納税制度化が本来の目的。一方で、国は中小事業者等の税負担や物価高騰等による経営逼迫を鑑み、新たな経済対策を講じる考え。よってこの状況を注視すべきであり、不採択とした。

文教厚生委員会　9月25日㈪

給食費検討委員会の設置

質問 今回実施される玉名市学校給食費検討委員会は、小中学校の給食に係る全体的な費用の適正化についても検討されるのか

答え 今年度は給食の材料費の高騰に対応するための検討を行う。

熊本市との公の施設利用

質問 熊本市以外の連携中枢都市圏に含まれる市や町の図書館等は対象施設となるのか

答え 熊本市と玉名市のみの公の図書館等の施設の相互利用が対象である。ただし、電子図書館は対象とならない。

一般質問 《ここが聞きたい》

QRコードで録画映像をご覧いただけます

9月定例会の一般質問は9月11日、12日、13日の3日間行いました。

西川 裕文 議員（第二新生クラブ）

質問 登山客やキャンプ愛好家らが利用する丸山キャンプ場。今後も継続利用できるのか

県有施設である小岱山丸山キャンプ場。市は、場内施設の清掃や維持管理を受託し運営しているが、キャンプ場内の施設が老朽化で取り壊されると聞き及んでいる。多くの方々に愛され利用される丸山キャンプ場は、今後どうなるのか。

産業経済部長 これまでどおり通年利用が可能。老朽化した施設などは、適正な維持管理に努める

小岱山丸山キャンプ場一帯には、登山道やビジターセンター・管理棟・トイレのほか、キャンプ場がある。各施設は、これからも通年利用が可能だが、管理棟やトイレなど老朽化した施設もあることから、そのままの維持管理等においては、今後も多くの方に利用していただけるよう、関係機関等と協議しながら適正な維持管理に努める。

▲丸山キャンプ場ビジターセンター

その他の質問

- 熊本市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約
- 有害鳥獣の捕獲

中村 慎吾 議員（新生クラブ）

質問 令和9年春の開校に向け、新校舎の基本設計が進んでいる。現在の進捗状況は

平成27年から継続的に協議が行われてきた天水中学校区の学校再編計画も、ようやく実現に向けて動き出した。今年度、統合小学校校舎等の基本設計中であるが、現時点ではどの程度進んでいるのか。

教育長教育部長 9月及び10月に学校運営協議会等に設計案を提示し、意見を伺いながら進める

現在、令和9年4月開校を目指し、小学校校舎等の基本設計を行っており、教育委員会内部での協議と併せ、天水中学校区の小中学校の意見を聴きながら、取りまとめを行っている。9月及び10月に玉水小学校、小天小学校及び天水中学校の各学校運営協議会委員、学校長、PTA代表に低学年児童の保護者代表を加えたメンバーに対し、基本設計を3案に絞り提示し、意見交換を行いながら最終的な取りまとめを行う。

▲統合する小学校が建設予定の天水中学校敷地

その他の質問

前田 正治 議員（日本共産党）

質問 旧玉名中央病院跡地の活用に周辺住民の熱視線！今後の活用計画は

旧玉名中央病院跡地は、建物解体後、令和6年度中に市に譲渡される。周辺住民から、地元公民館の駐車場や隣接道路として跡地を継続利用したいとの要望が出されるなど、今後の活用は高い関心ごとである。住民の意向を反映した計画となるのか。

建設部長 令和6年度に市中心部の全体構想であるグランドデザインの策定を目指す

現在、解体工事が発注され、令和6年度中に工事が完了する予定であり、その後、本市へ譲渡される予定である。このため病院跡地を「玉名市まちなか未来プロジェクト」の主要な拠点と位置づけ、庁内プロジェクトチームで検討を行っている。来年度には行政・商工団体・自治会・市民団体など官民が集まる会議の場「エリアプラットフォーム」を設置し、庁内プロジェクトチームと連携しグランドデザインの策定を目指す。

▲旧玉名中央病院跡地の活用に注目

その他の質問

- 庁内業務のDX化
- 職員定員管理と処遇改善

北本 将幸 議員（創政未来）

質問 **閉鎖が続く桃田運動公園市民プール。再開を望む声もある中、今後の活用は**

市民の夏の憩いの場として親しまれてきた市民プール。平成元年供用開始から約35年が経過し老朽化も進み、近年は新型コロナの影響もあり閉鎖が続いている。現在、市民プールの在り方検討委員会で議論されているが、今後の活用方針は。

教育部長 **庁内関係課と協議し市民の要望に合うよう民間の意見を取入れ検討する**

市民プールは、施設の老朽化で、維持管理に毎年多額の経費を要し、50mプールは漏水が続き、25mプールは熊本地震の影響で曲がり、プール周辺は凹凸が激しく素足で歩けない状態である。現在、市民プール在り方検討委員会の提言に基づき、市民プールの利活用を庁内関係課と協議をしており、市民の要望にあった施設になるように、民間業者の意見を取入れて検討を進めていく。

▲閉鎖されている市民プール

その他の質問
- 魅力ある公園の整備

山下 桂造 議員（自友クラブ）

質問 **石貫地区の県道沿いには、歩道がない区間があり危険。交通安全対策が必要では**

三ツ川産業団地の開設で、県道4号の交通量増加が見込まれる。旧石貫小学校周辺には住宅も多く、子ども達も含め多くの住民が生活している場所であるにもかかわらず、歩道のない区間がある。県に対し、歩道の設置を強く求めては。

建設部長 **今後、交通量が増えることが予想されるため、県に粘り強く要望していく**

県道4号における歩道の未整備区間は、本市と和水町でつくる道路開発期成会を通じて毎年要望していることに加えて、地元や教育関係からもそれぞれの立場で要望を行っている。今後、新たに三ツ川産業団地への企業進出に伴い、車両の通行が更に増えることが予想されることから、県での会議や意見交換会など様々な機会を捉え、粘り強く要望していく。

▲歩道のない道路

その他の質問
- 小中学校プールの暑さ対策

吉田 真樹子 議員（創政未来）

質問 **熊本県の事業を活用し、男女共同参画の視点に立った地域づくりを更に推進しては**

「地域リーダー育成事業」は、県の補助を受けて学べる貴重な機会。人材育成は、玉名の未来を良くするための大事な取組であり、研修後もその成果を存分に活かせるような後方支援が必要と考える。本市は当該育成事業をどう捉えているのか。

総務部長 **職場や地域で、リーダーとして活躍してもらえると考え、これからも推進していく**

この事業は、男女共同参画社会づくりを力強く進めることのできる地域リーダーを育成する目的で熊本県が実施しており、本市においては意欲ある参加者を推薦している。合併後、23人が参加され、現在は、職場や地域等でそれぞれ活躍されている。今後も、この事業に参加された方々が、職場や地域等において、男女共同参画社会づくりのけん引役となっていただけるものと期待し、広く市民へ事業の周知を図っていく。

▲県の地域リーダー養成事業チラシ

その他の質問
- 職員のプライバシーを守る取組

坂本 公司 議員（第二新生クラブ）

質問 **熊本県北唯一の人工ビーチと雄大な景色が広がる鍋松原海岸の現況と今後を問う**

鍋松原海岸の活性化に向けて、周辺施設も含めた一体的な管理運営と整備が進められている。それらの現況及び磯の里の閉鎖に伴い、お土産など買い物ができるような代替施設の整備は考えているのか。

産業経済部長 **今後も海岸エリア全体を活用し、誘客に繋がるよう継続的な整備を進めていく**

現在潮湯は、新たな指定管理者のもと、鍋松原海岸を愛称「しおまちパーク」と名付け、多くの方に愛される場所となるよう地域交流イベントやビーチスポーツ大会を開催している。磯の里での物販は行っていないが、イベント時などは柔軟に対応する。また「買い物ができる施設」は、潮湯内に販売拠点を移し運営する予定。今後は、利便性が高く魅力あふれる施設となるよう関係者と協議を行い、整備を進める。

▲鍋松原海岸の素晴らしい景観

その他の質問

- 本市の婚活支援

瀬崎 剛 議員（創政未来）

質問 **全国的にも増加する不登校の児童生徒。玉名市におけるその実情と対策は**

令和３年度の不登校児童生徒数は、全国で過去最多の24万4,940人となった。本市における実情と支援体制は。また、フリースクールの授業料を保護者へ補助する自治体もあるが、本市の見解は。

教育長 教育部長 **早期発見・早期対応に努め、相談体制を整え、未然防止と解消に取り組んでいる**

不登校の児童生徒への対策として、児童生徒にアンケート等を実施し、個々の状況を把握することで悩みの早期発見・早期対応に努めている。また、スクールカウンセラーや市の教育相談員などによる相談活動、中学校への適応指導教室などを設置し、児童生徒の居場所づくりを行い、不登校の未然防止と解消に向けた対応を行っている。なお、本市にフリースクールの授業料を補助する制度はなく、子どもの居場所の一つとして捉えている。

区　　分	令和5年8月末時点
不登校傾向小学生	19人
不登校傾向中学生	13人
不登校小学生	15人
不登校中学生	32人

▲玉名市内の不登校児童生徒数の現状

その他の質問

- 築山小学校施設について

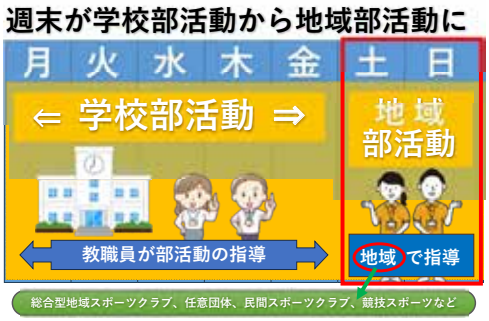
大野 豊重 議員（自友クラブ）

質問 **今後、地域へ移行される中学校の部活動。どの様な計画で進めていくのか**

文部科学省は、これまで中学校教員が学校教育の一環として休日に無償で担当していた部活動の指導を、地域のスポーツクラブや民間団体など外部団体に移行する事を提示した。今年度から令和７年度までの３か年を移行期間とされているが、本市の計画は。

教育部長 **部活動地域移行検討委員会での協議、各種説明会を経て、玉名モデルで進める**

今年度の部活動地域移行検討委員会は、各学校や団体等の代表者を新たに加え外部委員18名を中心に協議を行っている。今後、国県補助金を財源とし二つの実証事業を総合型地域スポーツクラブいだてん玉名へ委託し、コーディネーターを中心に運営団体・実施主体の体制整備、指導者の確保等を実施検証し、休日の部活動を学校から地域へ移行するため玉名モデル（拠点校方式と合同部活動方式の二つの活動形態）で進める。



▲部活動が地域に移行されるイメージ図

その他の質問

- 安定した介護サービスの提供

田浦 敏晴 議員（第二新生クラブ）

質問 **連日の猛暑で農畜産物等も悲鳴。現状はどうか。また、対策は整っているか**

今年の夏は連日猛暑が続いたが、市内の農畜産物や水産物に影響が出ているという報告はないか。また、猛暑によって被害を受けた農畜産物等に対しては、何らかの対策や支援が必要と考えるが。

産業経済部長 **丸トマトの黄変果※を把握しており、生産者による高温障害等の猛暑対策が肝要**

生産者や関係機関から被害報告等は寄せられていないため、深刻な状況にはないと考える。今後、収穫・生育期を迎える農産物等には高温・乾燥障害等が発生する恐れがあるため、関係機関と連携し農水産物の発育や家畜の飼育等の適正管理に向けた生産技術面での対策強化を生産者に促していく。収入補填等の経営支援は、生産者が加入する収入保険等により一定の支援がなされるため、現時点では市独自支援の必要性は低いと考えている。

※黄変果＝冬春トマトで暑い時期にヘタ周辺が赤色に着色しない状況

その他の質問

- マイナンバーカードの普及と活用

立川 信之 議員（第二新生クラブ）

質問 **災害時の備え万全に。天水市民センターの非常用電源を他の避難所と同様にしては**

非常用電源の稼働時間は、本庁舎や岱明防災コミュニティセンターが72時間であるが、天水市民センターは２時間程度しか使えない。持ち運び可能な発電機の備えはあるが、災害対応時の職員の負担ともなり、他の施設同様の非常用電源を確保しては。

総務部長 **非常用電源の確保に向けて、有用な事業の活用も含め関係部署で協議していきたい**

避難所と行政機能を備える天水市民センターにおいて、災害時のライフライン復旧に要する約72時間分の非常用電源の確保は重要な課題と考えている。今後、同センターに長時間運転が可能な非常用発電機や、蓄電池等の電源を確保するための設備整備を、有用な事業の活用も含め関係部署で協議をしていきたいと考えている。

▲天水市民センターの非常用電源設備

その他の質問

- 天水町本村地区の道路整備
- 天水地域の特性を生かしたまちづくり

徳村 登志郎 議員（公明党）

質問 **優秀な若者の支援と定住促進の一策に、「奨学金返還支援制度」を創設しては**

奨学金の返還に苦しんでいる若者の負担軽減を図るとともに、地方創生の観点から、優秀な人材が地元玉名にUターンする地方定着を促すきっかけの一つとして、「奨学金返還支援制度」を本市でも実施しては。

教育部長 **本市独自の奨学金の活用を含め、公平性のある制度要件等を検討したい**

奨学金支援制度は、優秀な人材の確保と定住促進に繋がるものであり、若者が安心して進学し、卒業後は玉名市への定住を考えるきっかけとして有効な取組であると考えられる。今後、市独自の奨学金制度である「玉名市奨学基金（貸与型）」の活用を含め、関係各課が連携して公平性のある制度要件等を検討していく。

その他の質問

- 「書かない窓口」の設置
- 野良猫の繁殖抑制に支援を
- 視覚障がい者のための「音声コード」利用促進

江田計司 議員（新生クラブ）

質問 **激務の教職員。早急に負担軽減を図り、教職の魅力アップに取り組むべきでは**

今の先生方の業務は、昔と比べて繁雑で、子どもと向き合う時間を確保することもままならず、結果、長時間労働となり疲労困憊である。業務の負担軽減を図ることは待ったなしの状況。国の教育環境の改善を求めた緊急提言を受け、本市はどう取り組むのか。

教育長 教育部長 **教職員が心身ともに健康でワークライフバランスを実現できる環境づくりを目指す**

教職員の長時間労働の是正をはじめとした働き方改革は喫緊の課題である。本市では、校務支援ソフトの導入による学校・学級事務の省力化や出退勤時刻の把握、給食費の公会計化、留守番電話の設置、夏季休業期間中における閉庁日の設定などを行ってきた。各学校では、日課や行事の見直し、会議の削減などに取り組んでいる。今後も、他の事例などを参考にして、できるところから実行に移し、教職員の負担軽減を図っていく。

▲児童と教員が整備する花壇（高道小）

その他の質問

議員力アップ研修会報告

開催日：8月2日(水)　　場所：市役所本庁4階

講師：田上善浩氏（一般社団法人WINGSCHOOL校長）
演題：「子ども達一人ひとりが、自分らしく輝く教育空間づくり」

多様性が求められる現代社会において、フリースクールの存在は重要視すべきことだと思います。今後は、本市でも研修などを重ね、熟慮しながら進めていかなければならない課題だと思います。

（坂本　公司）

講師紹介：熊本県（市）公立中学校英語教師として29年間勤務。その間、2000年から授業研究サークルを主催するなど、教師向けセミナー講師として活躍。2018年4月に一般社団法人WINGSCHOOL（スクール生85人）を熊本市に開校。「感性」「知性」「創性」の三層で「幸せな未来を築く力」をつけるための教育を展開。子ども達の元気な姿や、プロジェクト型学習の取組など活動の様子が話題となり2023年5月にNHKで特集番組が全国放送するなど、マスコミ各社が取り上げ話題に。

玉名市議会との意見交換会 来年春から"はじまります

- 対象は、玉名市内で活動している団体または自治会などです
- 各常任委員会・特別委員会が、みなさんのもとへまいります

日頃、暮らしの中で気になっていることを話してみませんか？

みなさんの声を聴かせてください

申込等の詳細は、次回発行する令和6年2月号のたまて箱に掲載します。

議会の情報をいち早くキャッチ！

市議会では、玉名市公式LINEで市議会の日程や一般質問の予定項目などを通知しています。

意見交換会のこともいち早くキャッチできますので、玉名市公式LINEの登録がまだの方、この機会にぜひ「友だち追加」をお願いします！

玉名市公式ＬＩＮＥ 登録はコチラ

委員会 先進地視察レポート

7月13日～15日 建設経済委員会（委員６人）

【北海道小樽市】

◉テーマ『小樽市観光基本計画・ロケツーリズムによる観光振興』

今回の研修から、歴史・文化などの価値を秘めた観光資源を見出し、観光戦略を立案し、市民や観光関連団体と連携して新たな創造による観光振興に取り組む重要性を学び、本市でも生かしていきたい。

【北海道千歳市】

◉テーマ『千歳市工業団地の魅力と課題・企業誘致プロモーション事業』

千歳市の課題は、ラピダス㈱が今年立地を表明し最先端半導体工場を建設予定であり、事業計画を注視しながら、新たな工業団地の整備も進めていく。また、ＰＲ活動は半導体関連企業へのプロモーションを積極的に行う必要があると考え、関係企業が参加する展示会等への積極的な出展を検討されていた。玉名市の産業団地の企業立地推進に向けて、千歳市の取組は大変参考になった。

7月19日～21日 総務委員会（委員８人）

【栃木県小山市】

◉テーマ『移住定住の取組』

今回の研修で、位置的条件が似ている小山市の取組を参考に人口減少に歯止めをかける施策を考えていく必要があると感じた。

【栃木県矢板市】

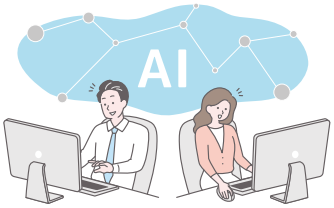
◉テーマ『矢板市気候変動対策計画』

玉名市でも、毎年のように起こる豪雨台風災害は気候変動による影響が大きいと考えられることから、市民の生命財産を守るため早急に対応すべき課題と感じた。

【栃木県那須塩原市】

◉テーマ『自治体ＤＸの取組』

玉名市においても、ＤＸ推進は避けられない課題であることから、庁内が連携した取組を進めていけるような体制づくりが必要であると感じた。



7月26日～28日 文教厚生委員会（委員６人）

【京都府亀岡市】

◉テーマ『フリースクールに関する施策』

今回の研修においては、不登校の児童・生徒にとっては学習の選択肢がより増えること自体は望ましいが、選択肢を増やすにあたり、教員不足という今後の教育行政の課題も改めて浮き彫りになった。しかしながら、玉名市で実施可能な部分を取り組んでいきたいと感じさせられる内容であった。

【京都府福知山市】

◉テーマ『THE 610 BASE の取組』

今後廃校の増加が見込まれる玉名市でも、参考にできる内容が再確認でき、先進地事例としては多いに役にたった部分をこれからの政策提言並びに施策反映の一助にしていきたい。

【兵庫県姫路市】

◉テーマ『宿泊型児童館「星の子館」の取組』

「星の子館」では、利用される子供の年代に合わせて、どの年代も館内の生活を楽しめるように、「ダンボール迷路」や「おばけ屋敷」、施設最上階にある巨大な天体望遠鏡を利用した「青空天文台」など様々な事業を実施されていた。玉名市の児童施設に対する考え方や、教育の環境づくりを考えるうえで大変参考になる視察であった。今回の研修を今後の政策審議に役立てたい。

行政視察の受け入れ状況

期　日	視察者	人数	内　容	対応した課
7月18日(火)	宇佐市議会　議会活性化特別委員会	10人	議会だよりの編集・発行	議会事務局
7月19日(水)	南九州市議会　総務委員会	9人	企業誘致	商工政策課
8月 2日(水)	上越市議会　総務委員会	10人	3D都市モデル	都市整備課

2023.11.1 No.72
玉名市議会だより
gikai@city.tamana.lg.jp
印刷部数：26,000部

議会の主な動き

7月	11日	議会広報広聴特別委員会
	12～14日	建設経済委員会行政視察
	18日	議会広報広聴特別委員会
	19～21日	総務委員会行政視察
	26～28日	文教厚生委員会行政視察
	31日	有明広域行政事務組合議会
8月	2日	議員研修会
	4日	熊本県北市議会連絡協議会
	8日	日本遺産に関する4市町合同議員研修会
	10日	委員会視察研修報告会
	17日	有明海沿岸道路及び公共施設建設調査特別委員会
	23日	熊本県知事への要望活動
	25日	議会運営委員会
	29日	有明広域行政事務組合議会
9月	1日	9月定例会開会
	4日	議会広報広聴特別委員会
	11～13日	一般質問
	12日	議会改革推進特別委員会
	15～20日	予算決算委員会
	21日	総務委員会
	22日	建設経済委員会
	25日	文教厚生委員会
	29日	9月定例会閉会

12月定例会スケジュール
開始時刻　10:00

11月	21日㈫	議会運営委員会
	28日㈫	開会
	29日㈬	常任委員会委員等の選任
12月	11日㈪	一般質問
	12日㈫	一般質問
	13日㈬	一般質問
	14日㈭	一般質問
	15日㈮	予算決算委員会
	18日㈪	総務委員会
	19日㈫	建設経済委員会
	20日㈬	文教厚生委員会
	25日㈪	閉会

※都合により変更になることがあります。

２年間　このメンバーで「たまて箱」を発行しました。ご愛読ありがとうございました。

編集後記

デジタル化が進み情報通信機器の世帯保有率は 97%に達し、その内訳はスマートフォン9割、パソコン7割だそうだ。市役所では業務の効率性や住民サービスの利便性向上などを目的にDX化が始まり、保育所や保健センターでの導入が準備中である。市からの情報は公式ＬＩＮＥで届き、議会報「たまて箱」もホームページでいつでもどこでも見ることができ便利になった。そのような中、「たまて箱」の印刷を請け負っていた昭和 41 年創業の印刷会社が業務を停止した。情報が紙媒体からデジタルに代わる影響かと複雑な気持ちになった。

委員　前田　正治

☆ホームページのアクセスは、検索画面で 玉名市議会 検索 を入力してクリック！

発行：玉名市議会　編集：議会広報広聴特別委員会
〒865-8501　熊本県玉名市岩崎 163
TEL：0968-75-1155　FAX：0968-71-0622

この広報紙は再生紙および地球環境にやさしい植物油型インキを使用しています。